

卒業生対象：歯科衛生学科

## 令和6年度福岡医療短期大学 歯科衛生学科同窓会会員(卒業生)へのアンケート

歯科衛生学科 25 期生(R5 年度卒)：卒業生 50 名にアンケートを郵送、回答 25 名

R7 年 1 月 郵送 回答期間 R7 年 2 月～3 月末

### 1. 全体概要

卒業生アンケートの結果から、本学歯科衛生学科における教育の評価は、領域ごとに特徴的な傾向がみられた。

歯科診療補助関連では、感染対策、ラバーダム防湿、診療室の環境整備、救急蘇生といった基本的かつ日常的に用いられる技術について「現在の教育で十分である」との評価が多数を占めたため、卒業後も自信を持って対応できる項目と推察される。一方で、口腔内写真の撮影や入れ歯の研磨、インプラントに関連する知識・技術に関しては「充実すべき」との回答が多かった。

歯科予防処置関連の教育評価では、フッ化物歯面塗布やスケーリング、ルートプレーニングの基礎、プロービングの知識、スケーラーのシャープニング、PMTC といった予防歯科の基本項目は十分であるとの認識が強かった。これに対し、シーラントや超音波・エアースケーラーを用いたスケーリングに関しては、卒業生から強化を求める声が挙がっている

歯科保健指導に関しては、成人患者への指導や口腔清掃用具の使用方法など、比較的一般的で標準化された指導内容については「教育が十分である」と評価された。しかし一方で、妊産婦や小児、要介護者への保健指導は「充実が必要」との回答が多かった。これらの対象者は発達段階や身体状況、生活背景が多様であり、特有の知識や臨床経験が求められる領域である。しかし、学生時代には対象者と接する機会が限られるため、卒業後に現場で不足感を抱く傾向がみられた。

汎用的能力（ジェネリックスキル）の評価では、協働性や実務遂行に必要な技術・ノウハウは一定程度身についたとの認識があったものの、自己の感情コントロールやストレスマネジメントに関しては不足を感じている卒業生が多かった。これは、医療職としての職業的アイデンティティの確立や、患者や多職種と協働する中での対人スキルに関連する重要な能力であり、専門教育と並行して心理的スキルの涵養を図る教育手法が必要であることを示している。

総じて、本学の教育は基礎的・標準的な領域については一定の成果を挙げている一方で、臨床現場での即戦力性を高めるためには特殊技術や対象者別保健指導の充実が必要であることが明らかとなった。また、専門技術教育と並行してジェネリックスキルや教育支援体制の改善を図ることが、今後の教育課程充実に向けた重要な課題である。

## 2. アンケート結果

設問1： あなたの年齢 についてお答えください。

年齢	人数
21 歳	1 名
22 歳	24 名
合計	25 名

設問2： 現在の就職・進学先についてお答えください。

現在の就職・進学先		人数
1	一般歯科	6 名
2	専門歯科（小児歯科・矯正歯科・口腔外科など）	2 名
3	病院歯科（リハビリテーション病院含む）	0 名
4	大学附属病院（歯学部附属・医学部附属含む）	0 名
5	企業	0 名
6	福祉施設	0 名
7	進学・学生（大学、短期大学、専門学校 等）	17 名
8	現在は就職・進学していない（休職中、家事手伝い、専業主婦 等）	0 名
9	その他	0 名

設問3-1： 現在の状況をお答えください

現在の状況		人数	
1	卒業してから現在まで同じ勤務先（施設）で働いている	6	名
2	最初の職場を退職したが、1ヶ月以内に歯科衛生士として再就職した	1	名
3	最初の職場を退職し、1ヶ月以上離職したが再就職した	1	名
4	最初の職場を退職し、その後再就職していない	0	名
5	一時的に仕事に就いた	0	名
6	卒業してから就職していない	17	名
7	その他	1	名

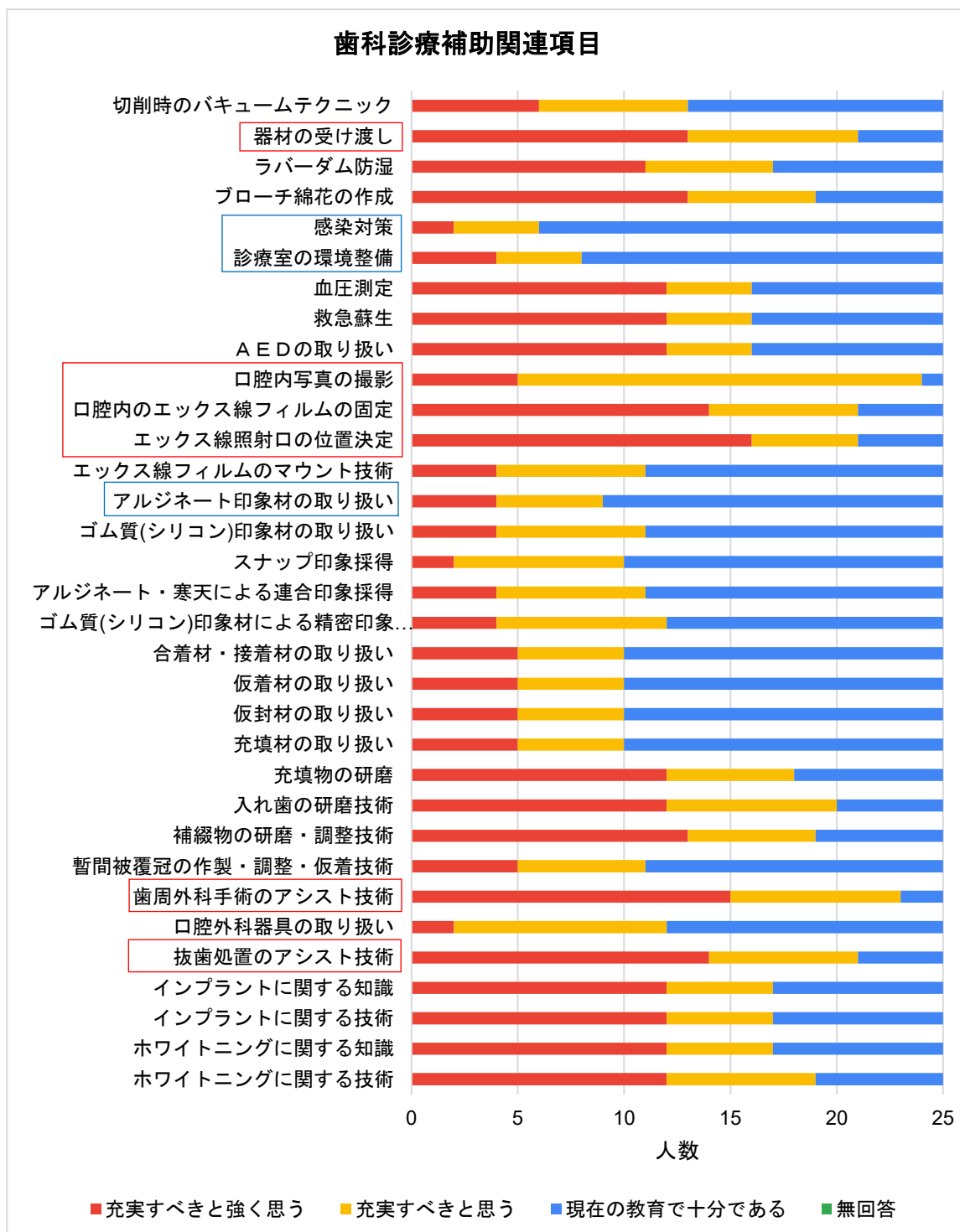
設問3-2： 退職理由はなんでしたか

- 「人間関係・待遇」などの職場内の問題
- 歯科衛生士としてキャリアアップのため

設問 4-1 : 短大で充実すべき歯科診療補助関連の項目についてお聞かせください。

< 歯科診療補助関連項目 >

■ は 充実すべきとの回答が多い項目、□ は 現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目



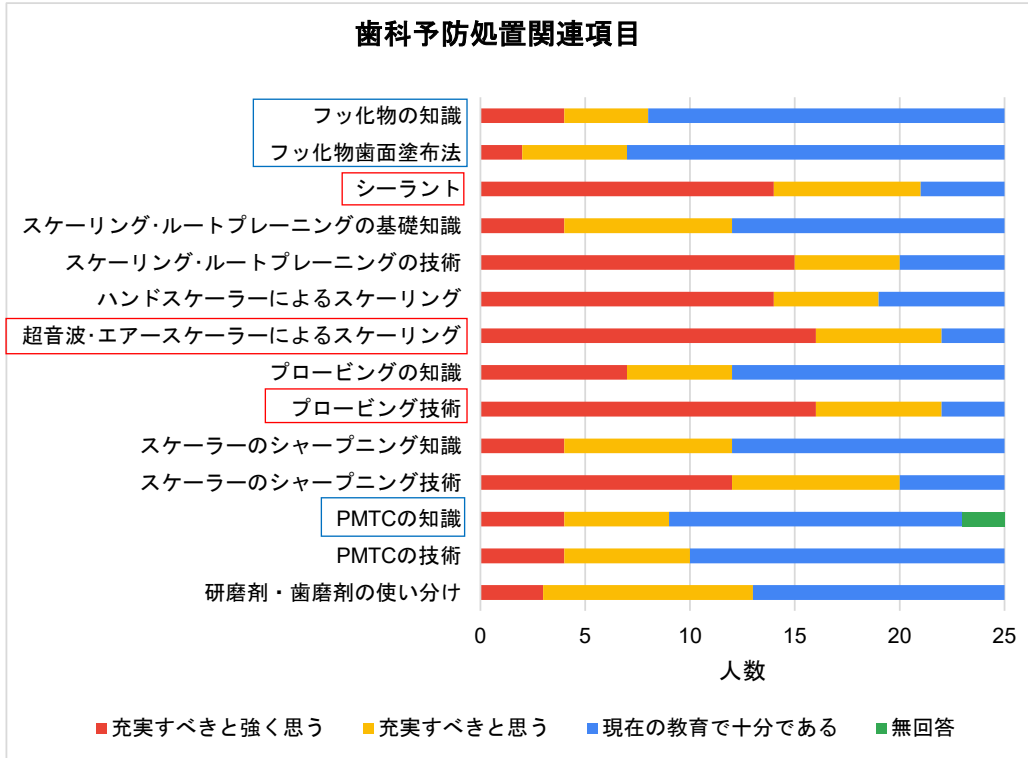
現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目は、感染対策、ラバーダム防湿、診療室の環境整備、救急蘇生であった。これらの項目は、日常診療で頻繁に行われるため、実践的なトレーニングが充実し、卒業生が自信を持っていると考えられる。

一方、充実すべきとの回答が多い項目は、口腔内写真の撮影、入れ歯の研磨技術、インプラントに関

する技術であった。口腔内写真の撮影やエックス線関連技術、インプラント技術の充実を図る必要がある。

< 歯科予防処置関連項目 >

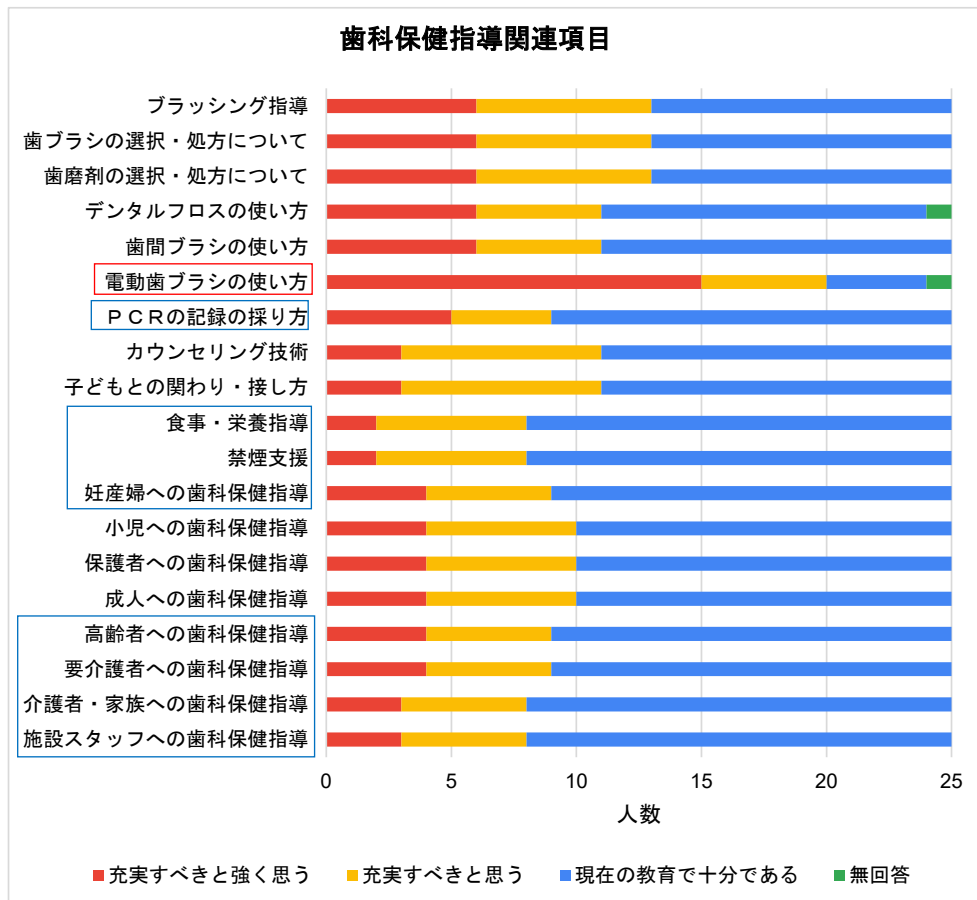
■ は 充実すべきとの回答が多い項目、 ■ は 現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目



現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目は、フッ化物歯面塗布法、スケーリング・ルートプレーニングの基礎知識、プロービングの知識、スケーラーのシャープニング知識、PMTCの知識であった。これらの技術は予防歯科診療の基本であり、実際の診療に直結するため、卒業生が自信を持っていると考えられる。充実すべきとの回答が多い項目は、シーラント、超音波・エアースケーラーによるスケーリングであった。

## < 歯科保健指導関連項目 >

■ は 充実すべきとの回答が多い項目、□ は 現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目

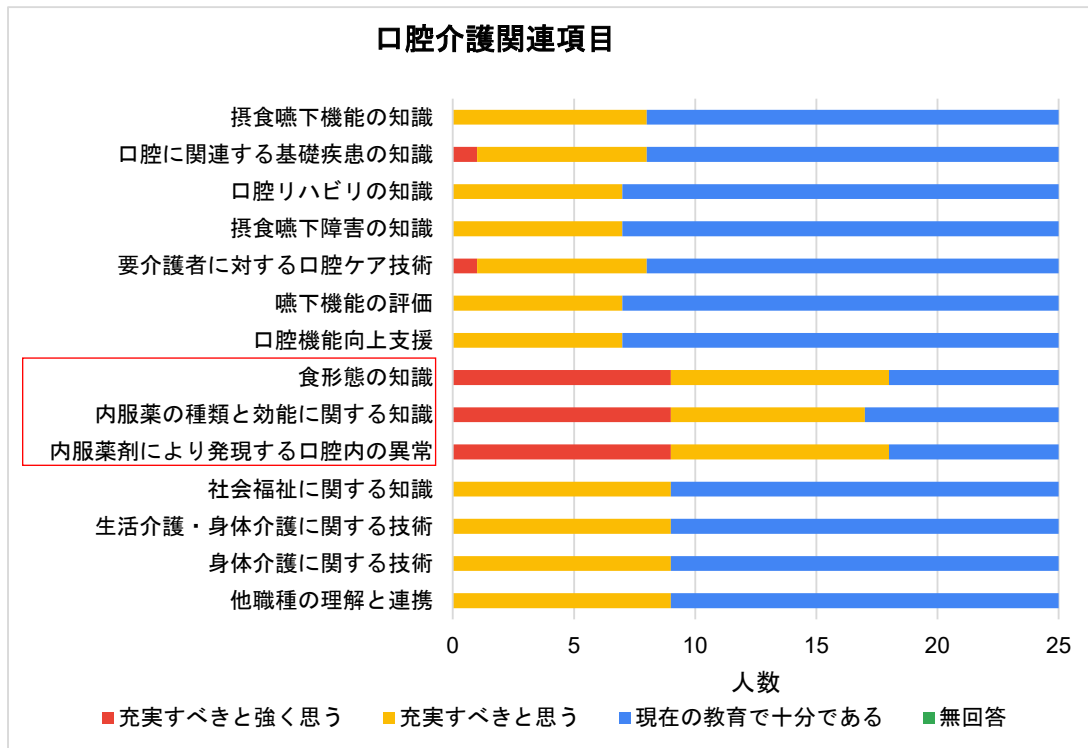


現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目は、歯ブラシの選択・処方について、デンタルフロスの使い方、歯間ブラシの使い方、成人への歯科保健指導であった。これらの指導は患者の健康維持に直結するため、実践的な訓練が充実していると考えられる。

充実すべきとの回答が多い項目は、妊産婦への歯科保健指導、小児への歯科保健指導、要介護者への歯科保健指導であった。妊産婦や小児、要介護者への指導には特有の知識が必要であり、更に、学生時代はこのような方々と接する機会も少ない。卒業後での環境によって知識と経験の不足を感じている可能性がある。

## <口腔介護関連項目>

□ は 充実すべきとの回答が多い項目



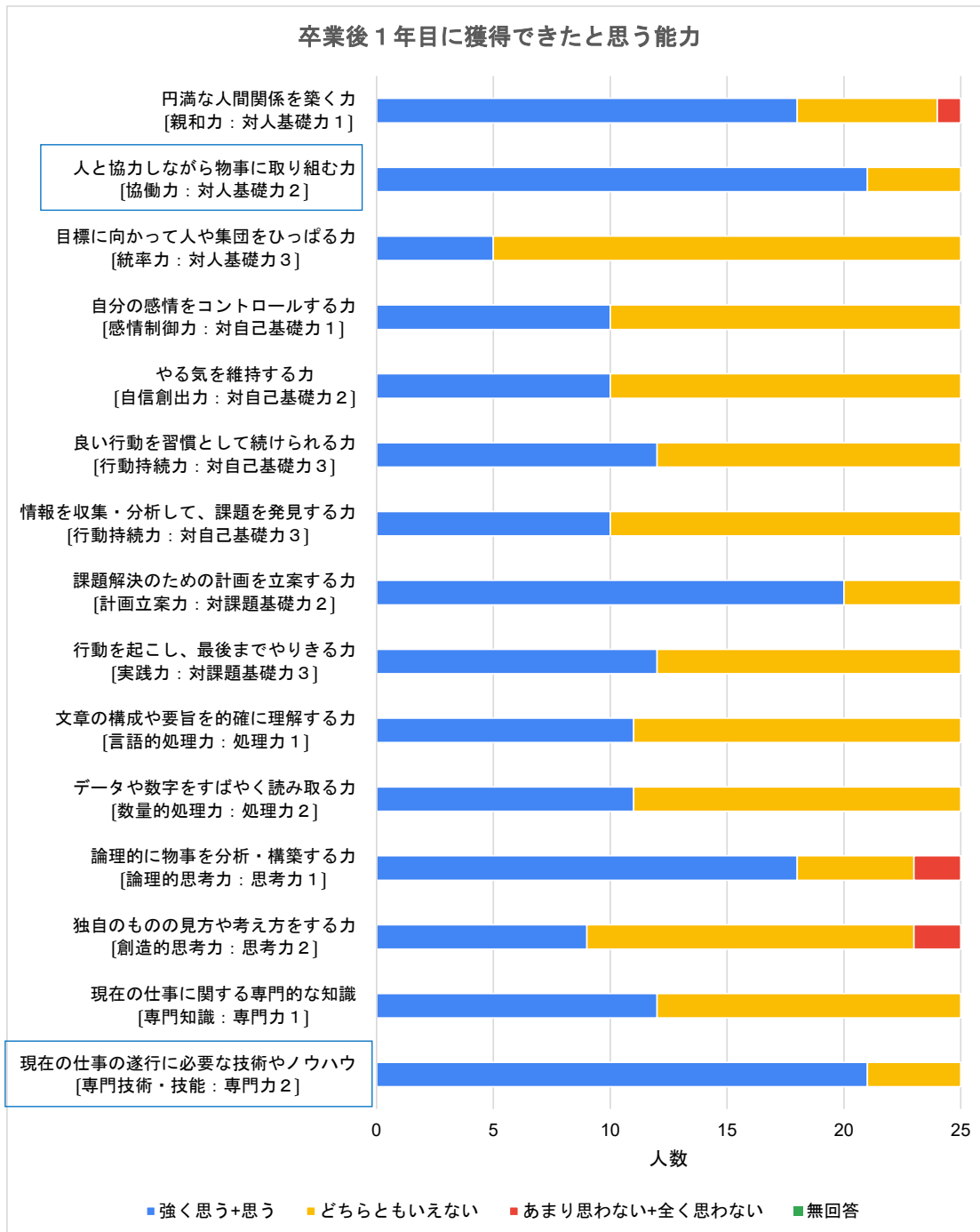
設問 4-2 短期大学の専門教育の中で強化・充実してほしいと思う能力についてあれば、記入してください。(その理由や取組、教育プログラムのアイデアなど)

- 超音波スケーラーはどこに務めても使う大事な機材なのでその練習が短大で少ないのが気になる。ハンドスケーラーよりもそっちを大事にするべき
- 患者に合った保健指導、TEC 作成
- TEC 作成、手用スケーラーによる SRP、超音波スケーラーの動かし方(補助なし、1人でバキュームと超音波を持つ練習)

設問5 15種類のジェネリックスキル（汎用的能力）についておうかがいします。

1) 卒業後1年目に獲得できたと思う能力

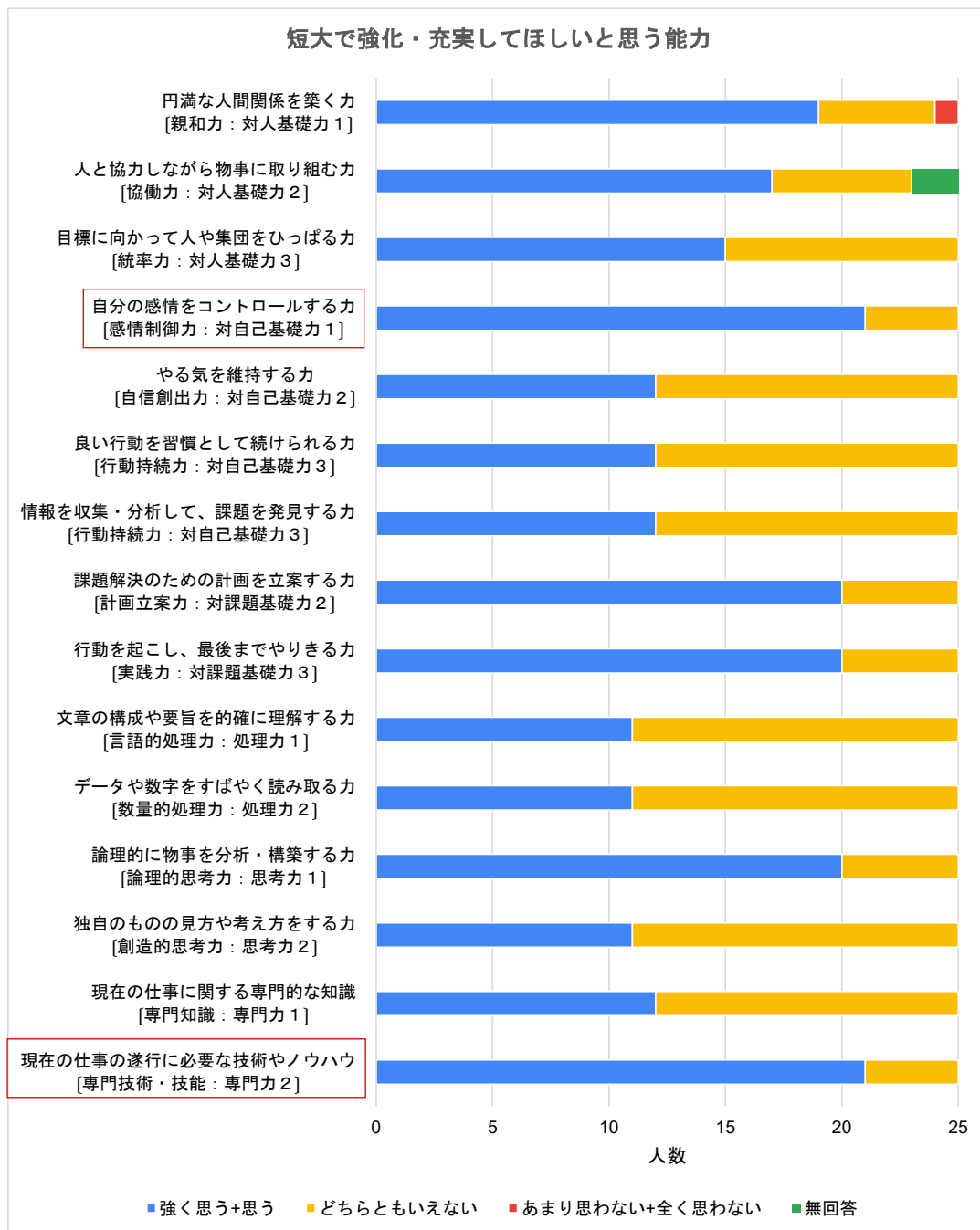
□ は 獲得できたと思う項目



全般的にジェネリックスキルが身についたと答えている。「人と協力しながら物事に取り組む力」と「現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ」が、他の項目よりも高かった。

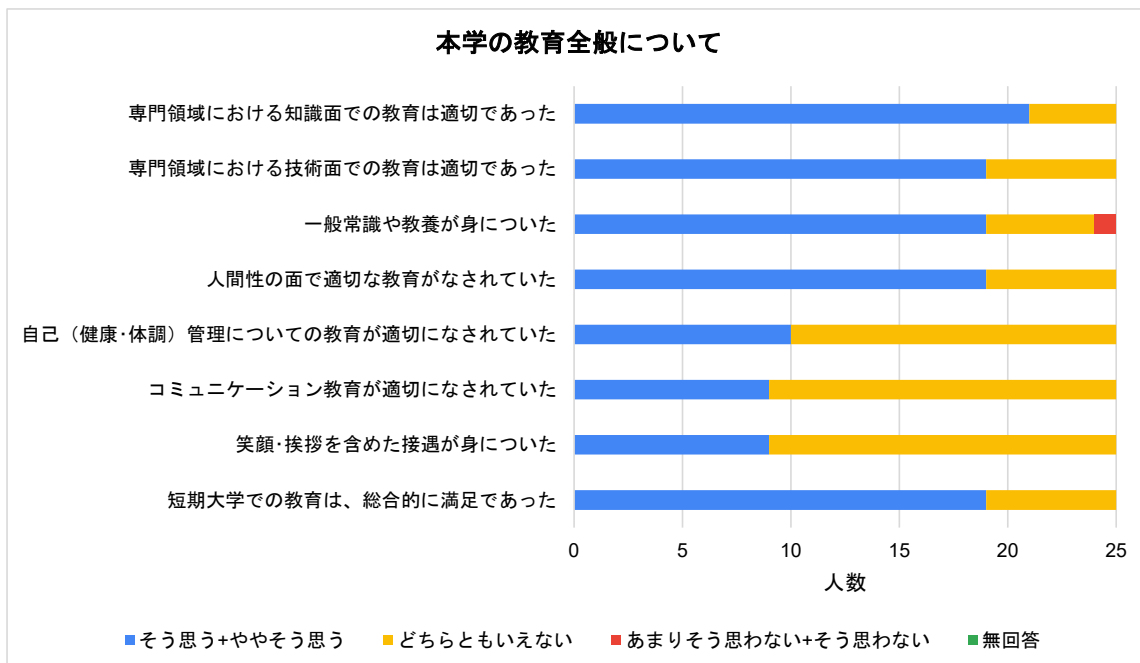
## 2) 短大で強化・充実してほしいと思う能力

□ は 強く思う・そう思うとの回答が多かった項目



全般的に短大で強化・充実してほしいと思う能力は、ジェネリックスキルの全項目に渡っている。特に「自分の感情をコントロールする力」と「現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ」が、強く思う・そう思うと答えている者が多かった。

設問6 本学での教育全般について5段階の選択肢の中から、選んでください。



「専門領域における知識面での教育は適切であった」と答えた者が多かった。

就職先対象：歯科衛生学科

## 令和6年度福岡医療短期大学 25 期生(R5 年度卒)の就職先へのアンケート

歯科衛生学科 25 期生(R5 年度卒) 就職先 25 施設対象 回答 13 施設

R7 年 1 月 郵送 回答期間 R7 年 2 月～3 月末

### 1. 全体概要

本調査の目的は、卒業生が現場でどのように評価されているかを把握し、教育課程の改善や学生指導に反映する点にある。

教育内容の評価として、基礎的な診療補助や保健指導に関しては一定の水準が認められている一方、さらなる充実を望む声も挙げられた。特に、超音波スケーラーやプロービング、口腔内写真撮影など、臨床で即戦力性を発揮する技術の修得に期待が寄せられていた。また、歯科予防処置関連項目では、知識の充実を望む声が多かった。さらに、患者との信頼関係を築くための面談スキルや、言葉遣い・マナー教育といった「患者やスタッフとのコミュニケーション能力」に関する強化要望も複数の施設から示された。

社会人基礎力については、「素直さ」「謙虚さ」「笑顔」「協調性」など人間性に関わる資質が特に重視され、採用理由としても多く挙げられていた。職場での定着や信頼関係構築に不可欠であるとして、一般常識、礼儀、自己表現力、レジリエンス（打たれ強さ）といった能力の育成が求められている。

自由記述からは、卒業生の多くが「積極性」「明るさ」「学ぶ姿勢」を評価され、職場に良い影響を与えていることが明らかになった。一方で、就職後のミスマッチや早期離職を防ぐためには、事前の就業先見学や職場特性の理解促進が重要であるとの提言もみられた。

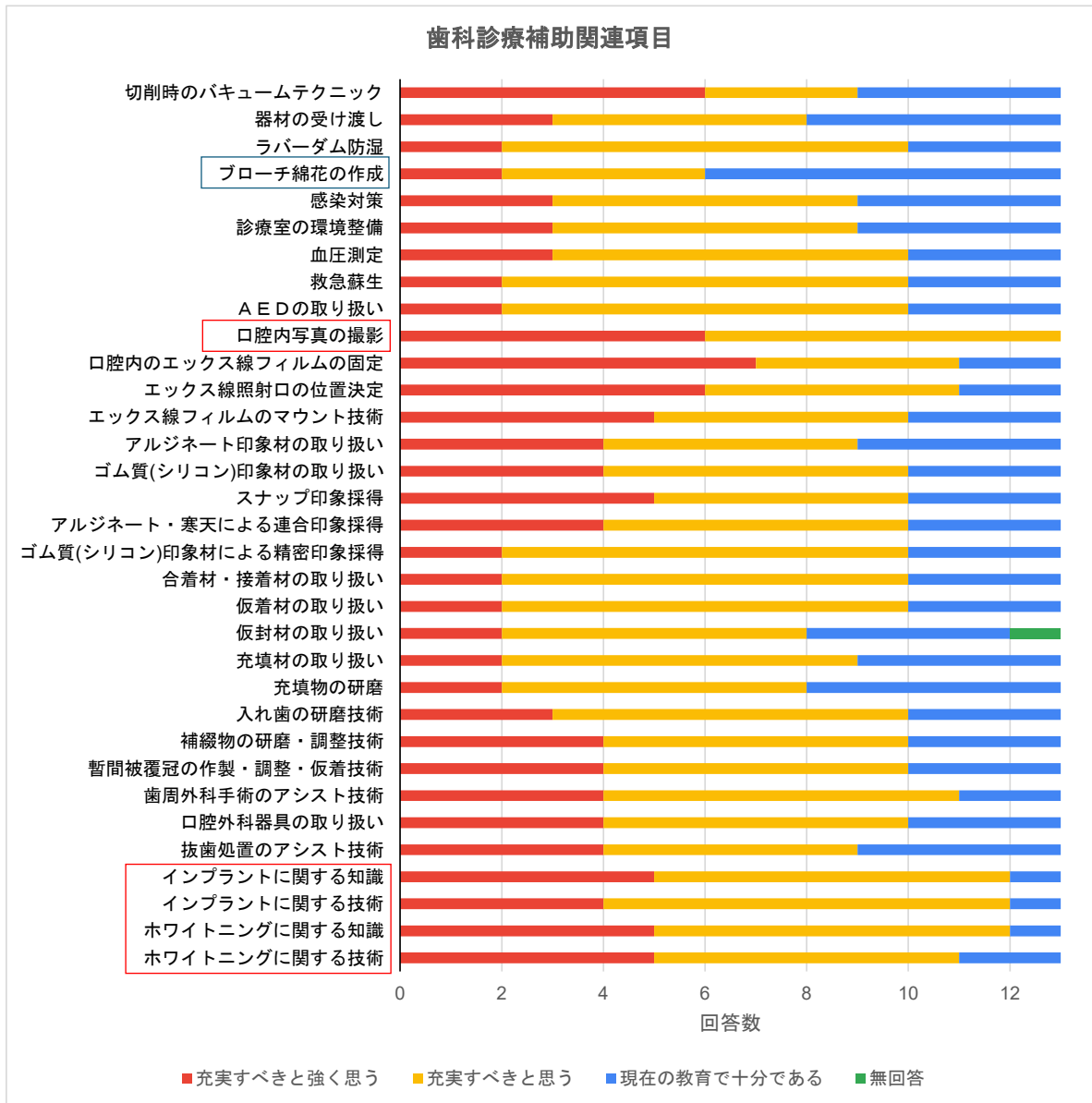
総じて、今回のアンケート結果は、本学の教育が基礎的技術や知識の修得において一定の評価を得ていることを示すとともに、社会人基礎力や対人コミュニケーション力、臨床での実践的スキルの更なる強化が期待されていることを示唆している。

## 2. アンケート結果

設問1：短大で充実すべき歯科診療補助関連の項目についてお聞かせください。

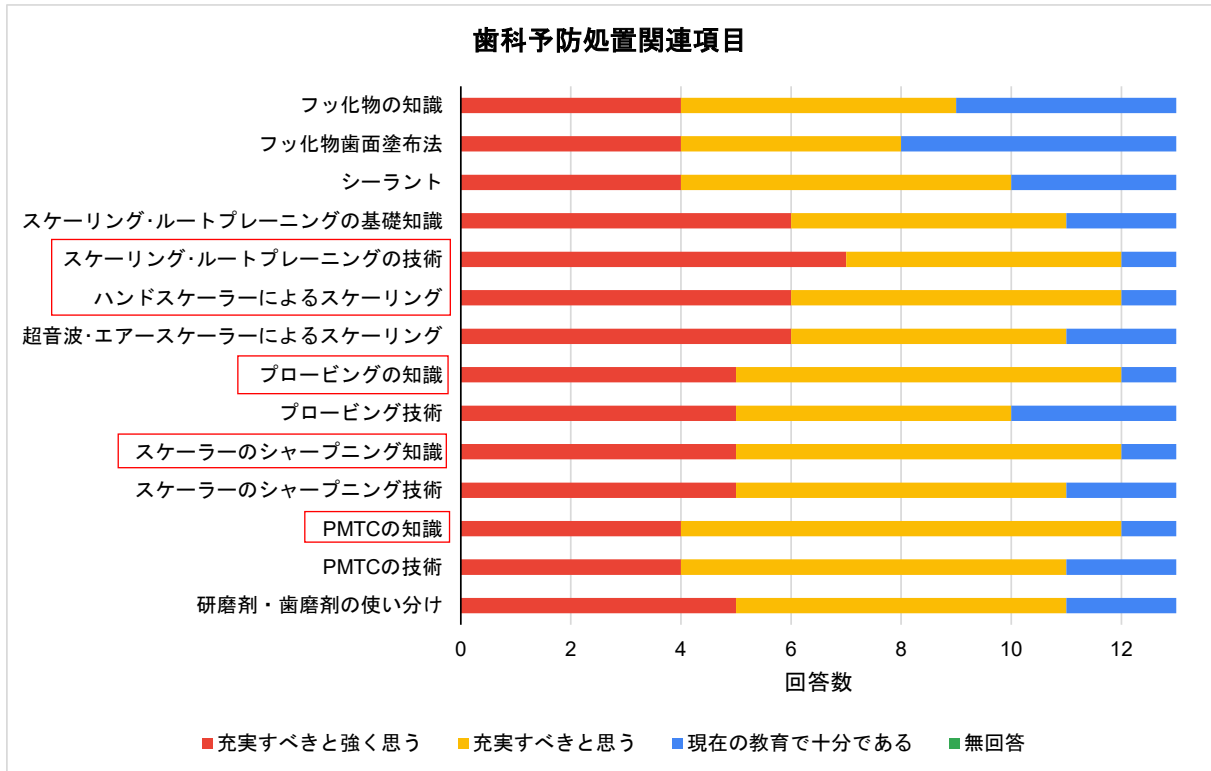
### < 歯科診療補助関連項目 >

■は 充実すべきとの回答が多い項目、□は 現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目



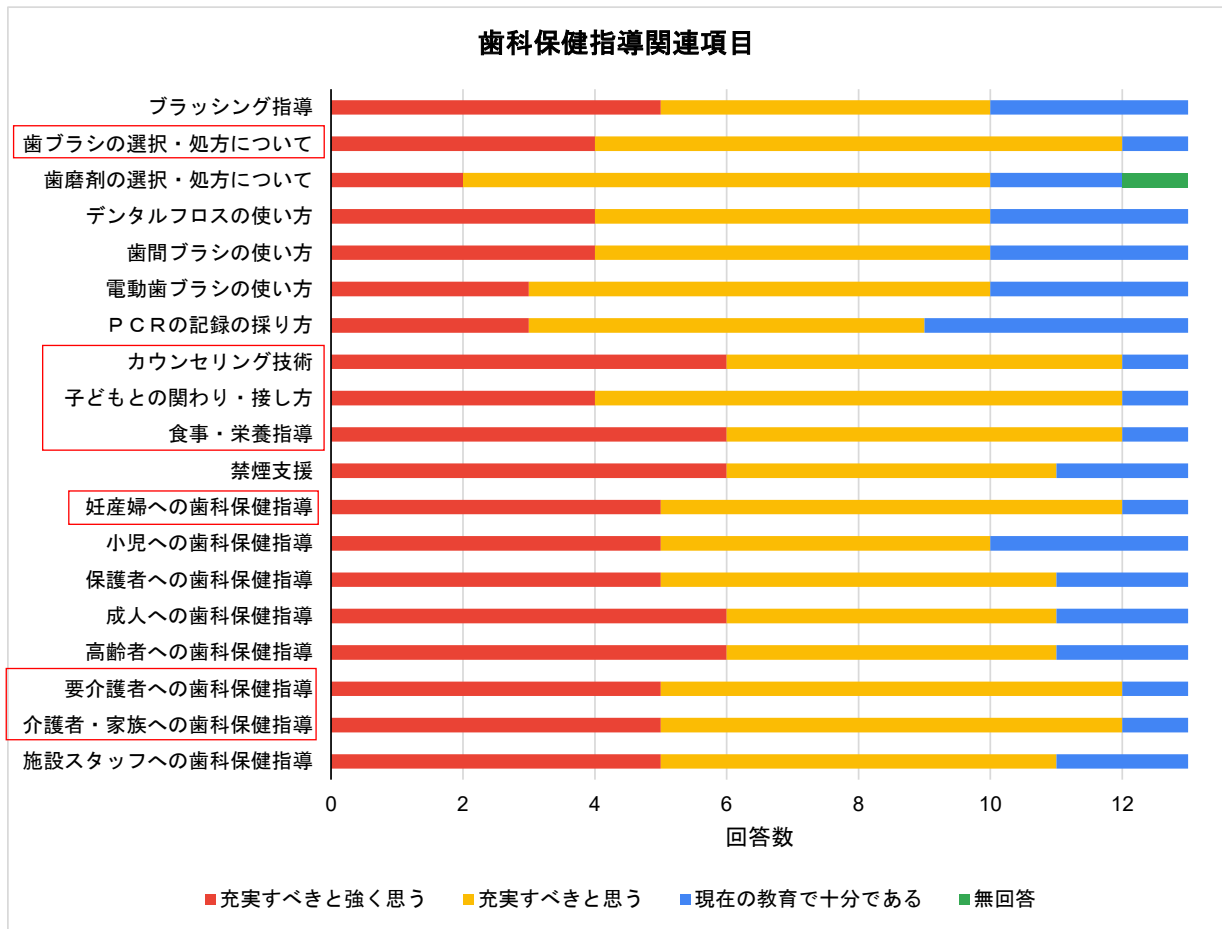
< 歯科予防処置関連項目 >

□ は 充実すべきとの回答が多い項目



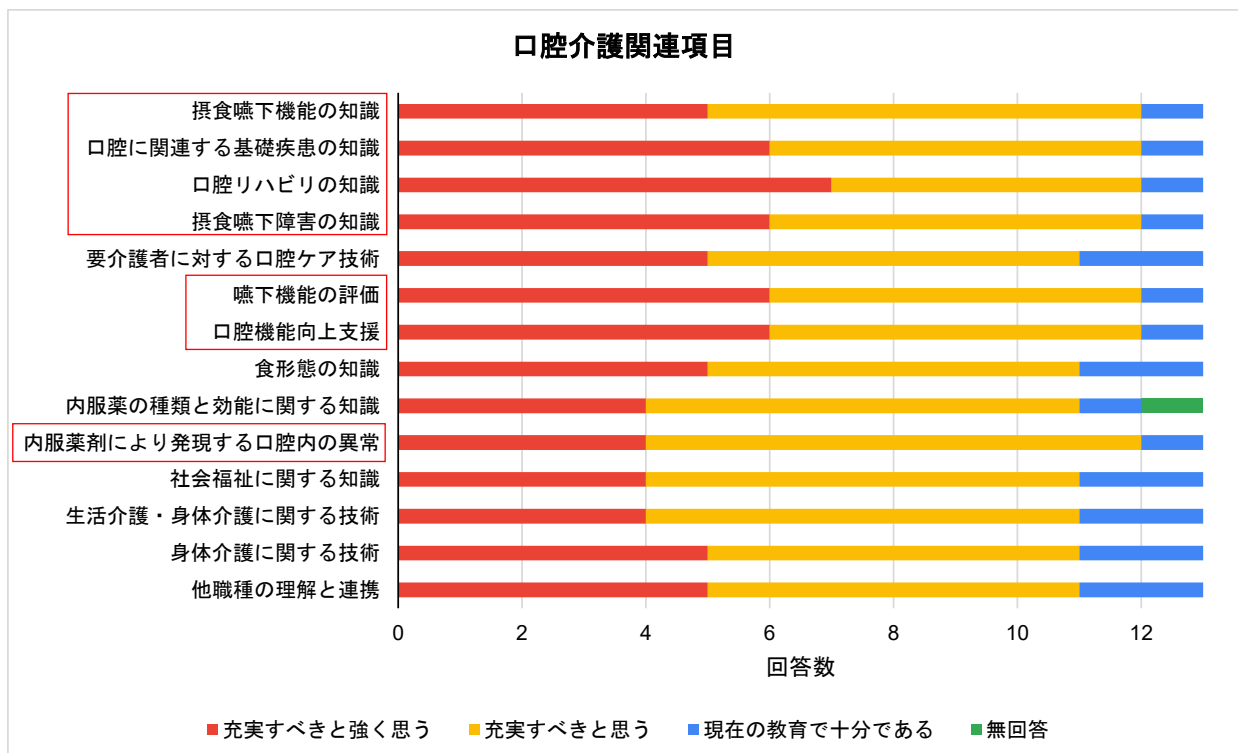
< 歯科保健指導関連項目 >

□ は 充実すべきとの回答が多い項目



< 口腔介護関連項目 >

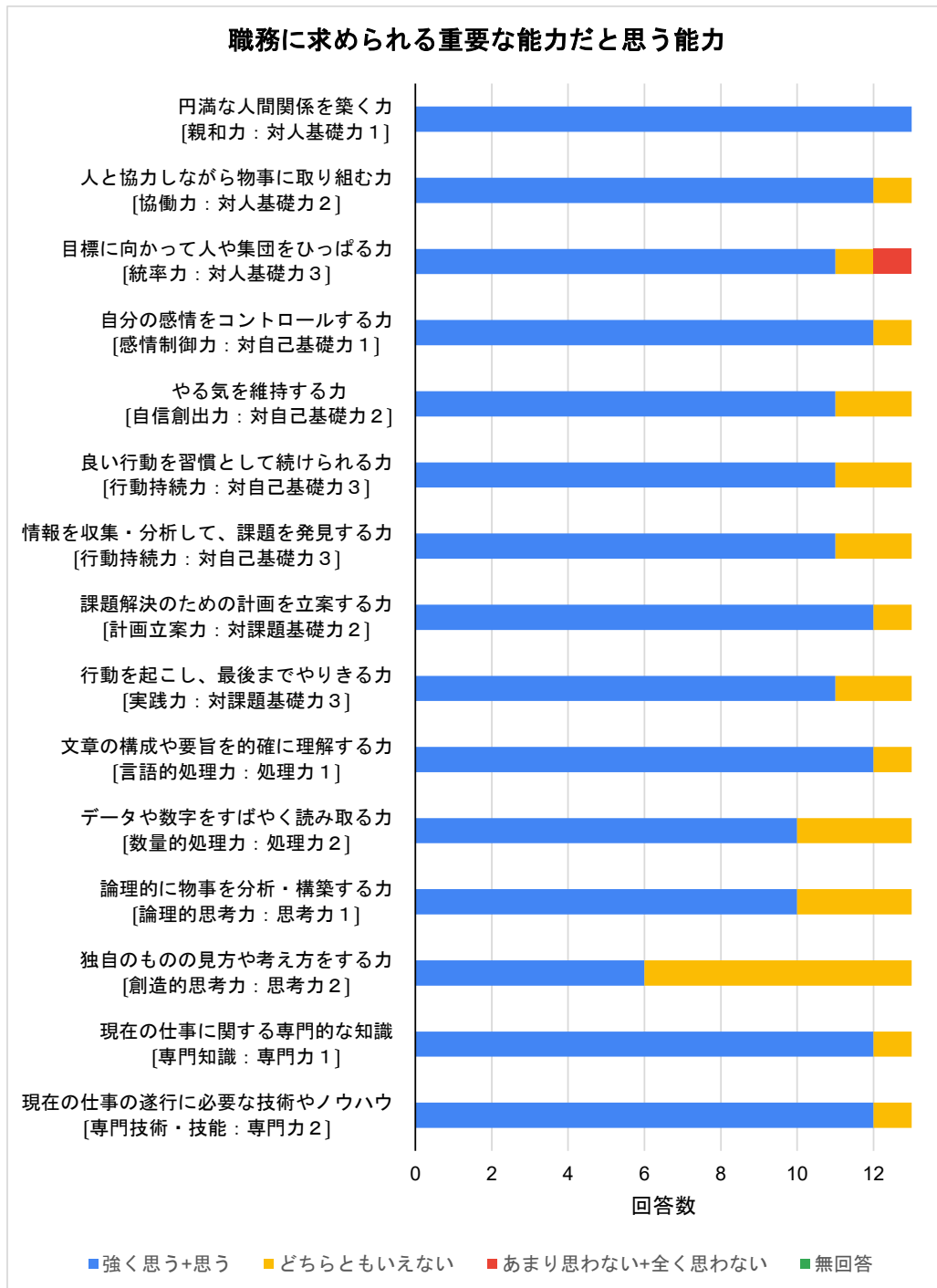
□ は 充実すべきとの回答が多い項目



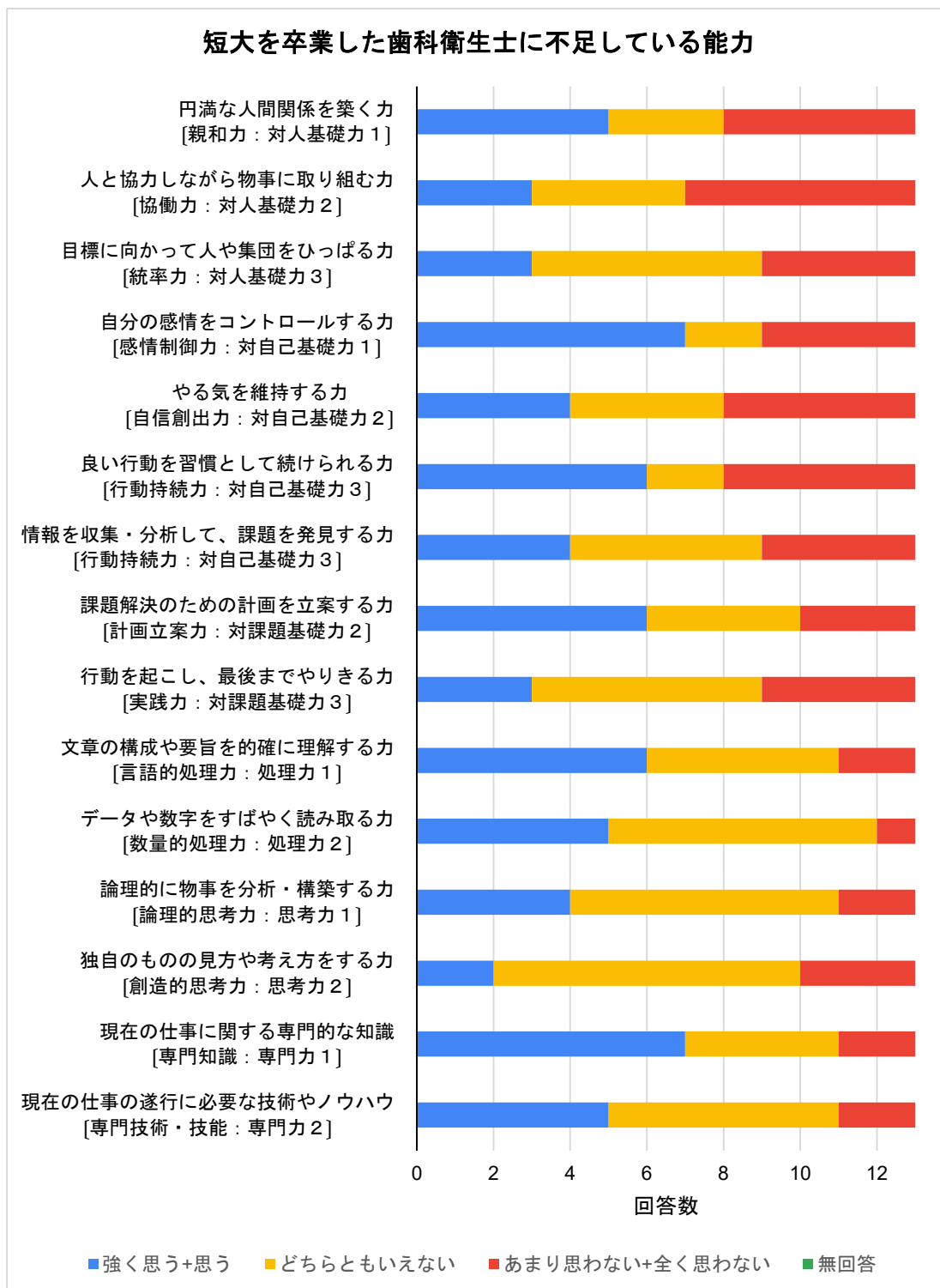
設問2 社会人としての能力についてお聞かせください。

1) 職務に求められる重要な能力だと思う

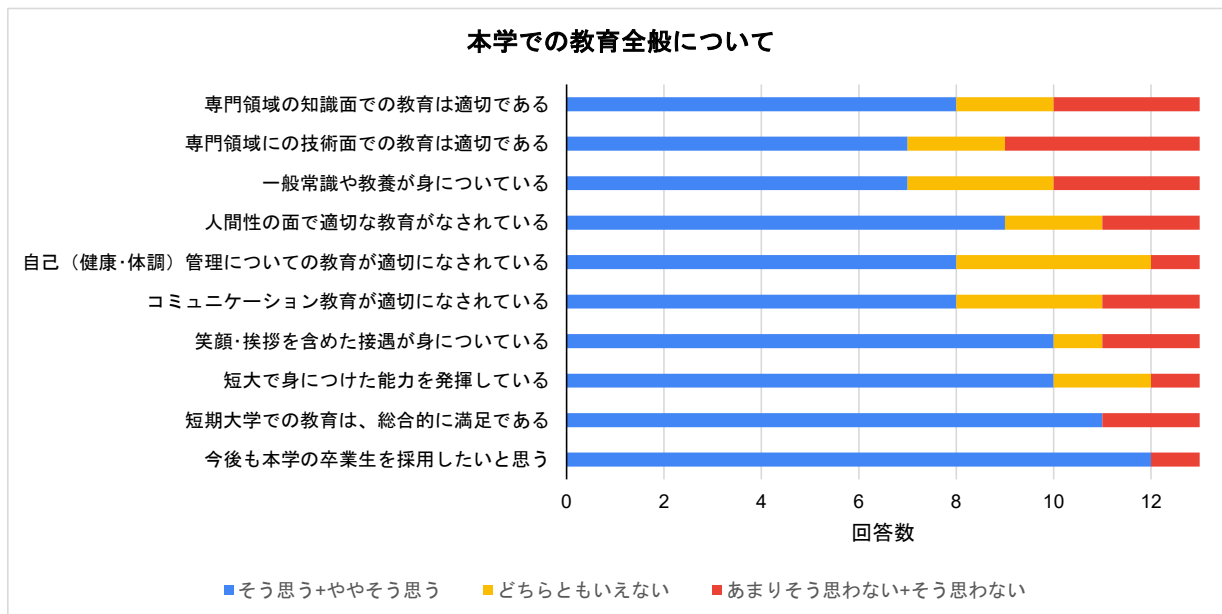
□ は あまり思わない+全く思わないとの回答が多い項目



2) 短大を卒業した歯科衛生士に不足している能力だと思う



設問3 本学での教育全般について5段階の選択肢の中から、選んでください。



設問4 本学卒業生を採用する理由 や 採用選考のポイント についてお聞かせください。

- 自然な笑顔 ・ 素直さ ・ 謙虚さ 等を考慮致します
- スタッフや、患者様に積極的にコミュニケーションが取れる子
- 明るさ、場を崩さない常識を持ち合わせているか
- 笑顔と積極性
- 明るく元気な印象で一緒にお仕事をする職場が明るくなるかなと思い、Yさんを採用しました。また、平成25年卒の御校の卒業生が、今も当院で大活躍してくれております。
- これまでに採用した貴校卒業生のイメージが良かったから。歯科衛生士として長期に仕事を続け、成長したいという気持ちがあるか。
- 採用選考のポイントは、以下に記載したような内容を満たされていると思われるかどうか、チームの一員としてふさわしいかどうかに着目しております。
- 向上心があるか、コミュニケーションが取れるか。
- 昨年採用したOさんは、入社一年を経過目前ですが、非常に素直で実直で様々な貢献を寄与してくれる人財として活躍してくれています。院内美化において率先して院内スタッフを牽引する能力もあり、非常に優秀です。今後もOさんに続く人財をご紹介くださる事を切に願っております。

設問5 学生に求める大切な 資質・能力 についてお聞かせください。また、その理由や育成のためのアイデアなどがあれば、お聞かせください。

- 短期大学については 良い教育をされていると存じております。どうしても就職先によりご自身の性格や専門性(理想としていた仕事内容)が合う合わないなど依存してしまうので、短期大学も 実施されているとは思いますが 事前見学や 就職先の特徴などを 分かったうえでのマ

ツチングをされた方が離職が少なかったり 歯科を嫌いになつたりしないのかなと考えております。

- 自分からアイデアを出す勇気や能力。目上の方が居ても発言できる能力
- 患者さんに対しては当然だが、それよりも同僚などに対して思いやりを持って働くこと
- 一般常識と学ぶ姿勢
- まだ何も知らないことを理解して、純粹に学ぼうとする姿勢があると一年目にたくさん吸収できて、充実すると感じます。
- レジリエンス(打たれ強さ)ダメ出しをされた時、落ち込まず冷静に対応できるようになるため。学生ではなく、大人としてのコミュニケーション能力(初診の患者さんは赤の他人です。他人と失礼なく、かつ円滑にコミュニケーションを取る力が歯科衛生士には求められます。)
- 学生に求める資質、能力については前向きに取り組む姿勢をもっているかどうかや、社会人としての一般常識、スタッフからも患者さんからも信頼を得られるような人間性であることが大切だと考えております。具体的には挨拶や返事、適切に質問ができることや、自分自身で考える能力、調べる姿勢があるかどうか、チームで働き、患者さんとも密に接するため人間関係が良好に保てる人間性かどうか、言葉遣いや身だしなみは適切か等が上げられると思います。育成のアイデアとしては学科や技術の他に日頃から上記のことが重要視されるということを伝える習慣があると良いかも知れません。
- 資質としてまずは素直さを一番に望みます。何事も聞く力がある事が、社会人のベースを創り、技術向上にも繋がると考えております。そのためには、知識、技術の学びの他に、社会に出る前の教養や一般常識などの学びがあると学生さんが社会に出た際にギャップとして感じず、早期に適応、順応できるのではないかと考えます。

設問6 短期大学在学中に実施してほしい 教育内容・教授方法 についてお聞かせください。また、その理由や取組のアイデアなどがあれば、お聞かせください。

- コミュニケーション能力
- 客観的に自分自身の言葉遣いや立ち振る舞いをみて、自分が患者さんや周りから(全員年上)どのように見えているのか、ビデオなど録画を利用してみてもらえば、正しい言葉遣いや立ち振る舞い、マナーの大切さがわかっていただけるかなと感じます。
- ヘルスカウンセリング技法を用いた医療面接の実習。(患者の本心を聞くことができるため)観察、傾聴、確認、共感が出来ているかロールプレイングする。
- 一般業務で必須となる技術、プロービング、歯面清掃(ソニックブラシ、プロフィー、パウダークリーニング)口腔内写真撮影、スケーリング、シャープニング、SRP 等が安全に行うことができるレベルであると、早くから患者さんを配当することができるため助かります。
- 限られた時間の中では難しいかもしれませんが、接客や介護などで対人とのコミュニケーションを1人でもできるようにしてほしい。

設問7 その他、本学へのご要望、メッセージ等がございましたら、お聞かせください。

- 当医院に就職していただいたTさんですが、とても頑張ってくれております。改めて御礼申し上げます。衛生士業について技術職の為 すぐできる様になる訳ではなく少しずつ出来ることを増やし、知識を構築すれば良いと考えております。衛生士業を 出来るだけ嫌いにならず肉  
体面 精神面でも健康に当社してくれれば、それで良いと 当院では考えていますので、上記  
アンケート項目に対しても ご参加にならなければ申し訳ございません。
- すごく積極的に学ぶ姿勢があり誰に対しても笑顔で接することのできる素晴らしい人材です  
!!
- 昨年4月に、Yさんが入社してくださり、職場の雰囲気明るくなりました。現在は産休中ですが、4月からフルタイムでお仕事に復帰予定です。また、Hさんも大活躍中です。Hさん  
とご挨拶に伺いたいと話をしておりました。今後も筑紫野市でお勤めをご希望の生徒さんがいら  
っしゃいましたら、担当が、ご説明に伺うこともできますし、当院にきていただけました  
ら、体験や見学もしていただけます。どうぞよろしくお願い致します。
- 今後ともよろしくお願い致します。
- この度は弊社にて勤務するスタッフFさんの就職に際し、温かいご支援とご指導をいただき誠  
にありがとうございました。おかげさまで、彼女は我々のチームの一員として活躍してお  
り、大変有能で信頼できる人材として成長しています。今後ご縁がありましたら、お気軽に  
ご連絡いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- Oさんが毎日潑刺と活躍してくれる姿は社会人一年目の模範的存在です。今後さらなる活躍を  
期待しております。ありがとうございます。